

子ども・女性

解消されない待機児童と子育て支援をどうするのか

幸田昌之議員(公明) ①待機児童対策として認定家庭福祉員

は具体的にどう進めるのか。②子ども・子育て支援事業計画は全ての子育て家庭への支援

を目標としているが、今後の計画実施における見解は。市長 ①新制度における家庭の保育事業への移行には自園調理での給食提供等の課題があり、

解消に向けて調整を進めていく。②事業にかかる量の見込みや確保方策の推進状況を踏まえながら、計画を着実に進めていく。

女性の在宅ワークを応援するために

日向美砂子議員(生ネ) ①子育て中の女性の就労促進事業等

における在宅ワークについて、保育との関係はどう考えるか。

②介護も視野に入れて、在宅ワークを応援できないか。市長 ①保育の要素を加えること

とは、今後、事業の詳細を決めていく過程の中で検討していく。②基本的には子育て中の女性

を対象としているが、介護等で就労が困難な人は現時点では想定していない。将来的には実現の可能性もあると考えている。

保育園の現状と待機児童ゼロに向けたこれからの取り組みは

竹井ようこ議員(フオ) ①待機児童となつてしまった家庭へのフォロー体制は。

②これからの待機児童ゼロに向けた計画は。市長 ①4月入園に関する申し込みの非内定者には、認証保育

所等の空き情報を連絡するなど情報提供を行い、保育の利用につなげられるよう努めている。

②来年度末までに、既に協議を開始している7か所の認可保育園の確実な開設や小規模保育事業等の整備を推進していく。

中央図書館での託児サービスの実施と一時預かり事業の拡充を

中江みわ議員(フオ) ①利用者

者枠拡充や土曜日の実施等、一時預かり事業を拡充すべきと考えるが、市の見解は。

②中央図書館で託児サービスを実施すべきだが市の見解は。市長 ①昨年度、目標とした9

か所の保育園で実施を達成しており、今後は各地域のニーズを捉えながら拡充を検討していく。

教育長 ②大人のための読み聞かせ会等、託児つきの事業の継続した実施を検討している。今

後も子育て支援の視点を踏まえた事業の充実を図っていく。

移動式赤ちゃんの駅で乳幼児連れの家族が外出できる環境を

中江みわ議員(フオ) ①市民

まつりなど屋外イベントでのおむつかえスペースなどの確保は、どのように対処しているのか。

②移動可能なテントなどを備えた移動式赤ちゃんの駅を設けてはどうかと考えるが、見解は。市長 ①市民まつりについては

会場内にはないが、学園東町地域センターや学園東小学校等を

休憩所として案内している。②購入費用や貸し出しの頻度等について、他市の状況等を参考にしながら研究していく。

※赤ちゃんの駅とは乳幼児を連れた保護者のために、外出先でおむつかえや授乳

ができるスペースを設けた公共施設や民間施設のこと。少子化対策、待機児童解消策は

さまざまな視点から行うべき伊藤 央議員(政和) ①保育

所増設だけではなく、親が子育てに専念している家庭への支援策として行っている取り組みは。

②現金給付やクーポン給付などの施策を行うつもりはないか。市長 ①子ども広場事業等、子

育て中の親子の交流や育児相談を実施するほか、育児疲れ解消や一時的な保育のために、一時預かり事業等を実施している。

②現在行っている取り組みを進めていくため、考えていない。義務教育就学児医療費助成

制度の所得制限を撤廃すべき磯山 亮議員(政和) ①所得

制限撤廃により子育て世代が受けるメリットについての見解は。

義務教育就学児医療費助成制度(マル子)の医療証

②所得制限を撤廃すべきと考えるが、見解は。市長 ①子育て世代の経済的負担が緩和されると認識している。

②基礎自治体が個別に実施するよりも国の制度として実施することが望ましいと考え、市長

会を通じ国や都へ要望している。今後とも国や都の動向等を見きわめながら慎重に検討していく。

保育の質を後退させることなく、待機児童の解消を

木村まゆみ議員(共産) ①待

機児童の解消について、今後の取り組みはどうか。②今後、開設予定の私立認可

保育園の保育の質の確保は。市長 ①29年度末までの解消を

目指し、7か所の認可保育園の開設や小規模保育事業、定期利用保育等の整備を推進していく。

②第三者評価等を通じて、保育の質の確保に努めながら、保

育士の処遇改善等、安定した保育環境を確保することで保育の質の維持向上につなげていく。

認可保育園増設に伴う財政負担の現状と今後について

佐野郁夫議員(政和) 認可保

育園増設に伴う財政への影響をどのように認識し、どのような展望を持って解決を図るのか。

市長 待機児童対策は計画的に必要な整備を行っているが、認可保育所の新たな開設に伴い、

財政負担は大変大きいものと認識している。今後は、既存の幼稚園との連携を考えた小規模保育事業等の開設など、引き続き、

さまざまな工夫を用いて待機児童の解消を目指すとともに、歳入面の見直しも検討していく。

子どもがふえる小平から新しいモデルを

平野ひろみ議員(生ネ) ①家

庭的な保育を提供する小規模保育事業への市の考えは。

②子ども・若者計画の策定に向けての進め方は。市長 ①ゼロ、1、2歳児の待

機児童解消に寄与するものとして、運営実績のある事業者による、モデルとなるべき施設の設置を検討していく。

②28年度に実態調査を実施するほか、計画策定の基本方針を定め、計画素案段階での市民意

見の公募等を行っていく。貧困と格差の連鎖を断ち切り、

子どもの貧困を解消するために

佐藤 充議員(共産) ①市内

の子どもの貧困率は。②修学旅行や入学準備にかかる

費用の就学援助は事前の支給に改善する必要があるが見解は。

市長 ①市独自の貧困率の算出は困難であることから、現時点

では持ち合わせていない。教育長 ②修学旅行費は実施後

に費用を清算し、個人別の金額を確定させる必要がある。入学準備費用は受給資格審査等が入

学後になるため、事前の支給は行っていない。今後、他市の状況を把握するなど研究していく。

福祉

移動支援事業は有効に活用されているか

橋本久雄議員(緑) ①移動支援事業の利用者への実態調査を

②おぞら号の使用対象者の制限の撤廃ができないか。市長 ①計画策定の実態

調査で、外出状況の質問項目を設けるなど、障害者や障害者団体等の意見を聞いている。引き

続き障害者からの意見聴取に努めながら必要な対応をしていく。②おぞら号の運行は都の事

業を活用して実施しており、制限の撤廃は難しいと考える。障害者差別解消法施行に当たり

市、事業者、市民がすべきこと日向美砂子議員(生ネ) 障害

があってもなくてもともに暮らし誰もが生きやすい地域をつくるために、障害への理解を深め

ることに障害のある人との交流が大切だが、市ができることは。市長 障がい福祉計画を体系的

に推進しており、共生社会の実現を目指す個別の施策として、誰もが参加できる行事の開催等

を通じて相互理解と交流を促進している。また、法で規定する地域住民等に対する啓発活動

を行うことで理解を促進していく。介護予防施策の充実について

山岸真知子議員(公明) ①地

域包括ケアシステムの構築を図る上で、現状の課題は。②浦安市で先進的に取り組ん

でいる、市民と協働で介護予防を進めることについて、見解は。市長 ①多種多様なサービスの

提供を担う人材の育成と、身近な集いの場等の地域づくりなどが課題と考えている。②市民への啓発や地域づくり

障害のある方も安心して選挙に臨めるようにしよう

竹井ようこ議員(フオ) ①選

挙公報の点字訳はどのように行われているのか。②投票所で困

っている人が手助けを求められるような対策をしてほしいと考えるがどうか。

選挙管理委員会事務局長 ①国

や都の選挙は計12の公共施設で点字訳を配布している。市の選

挙は音声版選挙のお知らせを希望者等に対して配付している。②今後は選挙人の方からも

気軽に声をかけてもらえるよう、投票所の入り口付近に文書を掲示するなどして対応していく。

お金の心配なく市民が必要な医療や介護を受けられるように

木村まゆみ議員(共産) ①短

期証の発行による利用の制限の前に、保険料の支払いが困難な

高齢者への生活サポートが先と考えるが、市の見解は。②高齢者宅を訪問して面談

の調査が必要と考えるがどうか。市長 ①納付の相談の際に、介

護保険料等の減免制度の案内や、分割納付等の相談を行っている。②納付が滞っている人には、

職員が訪問して催告や相談を行っているが、留守等で接触が限られるため面談は困難と考える。

(仮称)小平市高齢者住まいの計画の策定を

木村まゆみ議員(共産) ①高

齢者の住まいについての計画を策定すべきと考えるがどうか。②生活保護受給はしていない

が、基準以下の収入の人の認知症高齢者グループホームへの入

居は、どのように保障するのか。市長 ①現在のところ、高齢者

の住まいに特化した計画の策定は予定していない。②具体的な入居支援策は講じていないが、個々の状況に

応じて最善のサービスへつながるよう相談体制の充実を図っている。点字ブロックの整備など

視覚障がい者に優しいまやがわを佐野郁夫議員(政和) ①点

字ブロックを設置する際に、地域の視覚障害者の意見を聞いたり、立ち会いをしているのか。

②小川駅西口駅前道路に点字ブロックを設置できないか。市長 ①設置に関する要望があ

った際には市の担当者が現地を確認した上で、必要に応じて要望者と現地立ち会いや話し合

いをさせてもらっている。②段差のある歩道を設置する幅員がないことから、現状での

設置は困難と考えている。



小川駅西口駅前の道路

掲載分以外の質問項目

【公園・用水】緑化推進委員会提言の市政への反映について

※伊藤央議員は平成28年6月21日に政和会を退会し、同日ムサシを結成しました。